

64歳以下の ワクチン接種が始まります



■対象…町内に住所のある接種日現在12～64歳の人
※12～17歳は、ファイザー社製ワクチンの供給量を踏まえて対応するため、現時点で未定です。

■接種開始…8月以降(詳細は広報8月号でお知らせします)

■接種費用…無料

■接種場所

▷集団接種…長島体育館
(火曜・金曜の13:00～14:30受け付け予定)

▷個別接種…一関市内の医療機関

■その他

▷高齢者施設などの従事者は、施設内での感染予防を目的として、一関市の集団接種会場で7月から先行して接種を行います。

▷今後のワクチン供給状況などによっては、一関市集団接種会場での接種など、接種体制や使用するワクチンを変更することがありますので、予めご了承ください。

▷接種券が手元に届く前に、職場や大規模接種会場などで接種を受ける人は、新型コロナワクチン接種対策チームにお問合せください。

▷高齢者(65歳以上)のワクチン接種を希望する人で、まだ接種の予約が済んでいない人は、新型コロナワクチン接種対策チームまでお問合せください。

ワクチンを接種するまでの流れ

①接種券(クーポン券)が届く

ワクチン接種には、接種券が必要です。7月中旬以降、対象となる人に郵送します。



②ネットまたは電話で予約する

予約方法の詳細は、接種券に同封されるチラシをご確認ください。



③ワクチン接種を受ける

▷接種日時・場所の詳細は、接種券に同封されるチラシをご確認ください。

▷現在、使用予定のファイザー社製ワクチンは、3週間の間隔をあけて2回接種します。

■問い合わせ先

新型コロナワクチン接種対策チーム
(保健センター内) ☎34-9808
※受付時間 平日 9:00～16:30



①



③

7月23日に開会式が行われる東京2020オリンピックの聖火リレーが、6月18日に中尊寺境内を会場に行われました。
第1走者は、町民の佐々木久美さん(13区)が務め、中尊寺参道の入り口をスタート。応援に駆け付けた知人や沿道の拍手に笑顔で応えながら、月見坂付近で待つ第2走者へとリレーをつなぎました。
第5走者は、書道家で町の観光大使でもある武田双雲さんが務めました。ゴールの金色堂前では、聖火の灯ったトーチを掲げる武田さんとサポートランナーの町内スポ少の子もたちの姿が見えると、会場からはたくさんの拍手が送られていました。

東京2020 オリンピック聖火リレー



②

①拍手に応える第1走者の佐々木久美さん／②ゴールを目指す武田双雲さんとサポートランナーの町内スポ少の子もたち／③ゴールでランナーを待つ小学生たち

小さな町だからこそ、大きなやりがいがある 令和3年度平泉町職員採用試験

令和4年4月1日の採用候補者を決定する「令和3年度平泉町職員採用試験」を次のとおり行います。

■募集職種及び採用予定人員

- ①一般事務(初級) ……若干名
- ②文化財調査員 ……1名
- ③自動車運転手 ……1名

■受験資格

- ①高等学校以上を卒業または令和4年3月31日までに卒業見込の人で、平成3年4月2日以降に生まれた人
- ②学校教育法に定める大学または大学院で考古学、歴史学、文化財学その他これに準ずる専門教育を受け、卒業(修了)または令和4年3月31日までに卒業(修了)見込の人で、昭和62年4月2日以降に生まれた人

③高等学校以上を卒業した人で大型自動車免許、大型特殊自動車免許を有し、昭和57年4月2日以降に生まれた人

■受験申込書の交付

申込用紙は平泉町役場2階総務課で交付します。また、職員採用試験実施要領及び受験申込書は、平泉町ホームページからもダウンロードできます。

■受験手続

受験申込書に必要な事項を自書し、所定の箇所に写真を貼って総務課に提出してください。

■受付期間

7月20日(火)～8月20日(金)

受付時間 8:30～17:15

※休日(土・日・祝日)は受け付けしません。

※郵送の場合、期限内必着です。

■採用試験日

▷期日…①②9月19日(日)、③9月22日(水)

▷受付時間…①②9:00～9:30 (試験開始10:00～)
③9:00～9:30 (試験開始10:00～)

▷試験会場…①②一関学院高等学校、③平泉町役場

■問い合わせ先…総務課 ☎46-5540

世界遺産登録 10周年記念 特別講演会

6月18日、平泉の文化遺産がユネスコの世界遺産に登録され本年で10年を迎えることを記念し、世界遺産「平泉」のロゴマークを揮毫(きごう)した書道家の武田双雲さんを講師に特別講演会を開催しました。

平泉小学校体育館で、平泉・長島の両小学校の5、6年生と一般希望者を合わせ約140人が参加。講演会では「毎日が楽しくなる方法」と題し、自身が学生時代に苦手だった国語や美術も今では職業となったことなどを紹介しながら、参加者に字を書く楽しさとポジティブな思考をする方法について話してくれました。



①

①自身の体験を通して、字を書く楽しさを伝える武田双雲さん／②自分の書いた「た」の字を武田さんに見せる子どもたち



②